

デジタルヘルスと臨床薬理学

／ 治験・臨床研究

12月5日(土) 10:00~12:00 第7会場

座長：湯地 晃一郎(東京大学医科学研究所)  
中野 真子(ノバルティスファーマ)

- ◇製薬企業のデジタルヘルスへの取り組み  
中野 真子(ノバルティスファーマ)
- ◇「デジタル療法」という新たな治療戦略の創出—禁煙・高血圧領域における治療用アプリ開発の取り組みとエビデンス  
佐竹 晃太(日本赤十字社医療センター呼吸器内科)
- ◇データ・ドリブンによるヘルスケア変革  
倉田 知明(グーグル・クラウド・ジャパン)

近年、スマートフォンやセンサー技術を用いて患者や集団の健康やヘルスケアの改善を目指すアプリケーションソフトウェアやハードウェアなど、デジタルヘルスが注目を集めている。医療データのデジタル化によって、データ駆動型の医療が実現すると期待されている。

中野真子氏(ノバルティスファーマ)は、疾患によってはウェアラブル機器等の使用により、普段の生活の中での健康関連データが収集できるようになるなど、IT技術を活用したデジタル化やリモート化が様々な分野で急速に進んでいるとし、医薬品等の開発における製薬企業のデジタルヘルスへの取り組みについて紹介する。

佐竹晃太氏(日本赤十字社医療センター呼吸器内科)は、大学発ベンチャー企業を立ち上

げ、慶應義塾大学医学部呼吸器内科と共同で開発したニコチン依存症治療用アプリの概要を紹介する。9~24週における継続禁煙率は、対照用アプリを用いた群と比べて、治療用アプリ使用群で有意に高いことが示された。デジタル療法や治療用アプリに関する概略や動向を紹介しつつ、どのようにエビデンスを構築していくかという点についてニコチン依存症の臨床試験や、高血圧の治療用アプリについての最新の開発状況を提示する。

倉田知明氏(グーグル・クラウド・ジャパン)は、医療・ライフサイエンスの関連組織と提携して業界のデジタル変革を推進しているグーグルが取り組む最先端のテクノロジーや、最新のヘルスケアソリューションを紹介する。

New Modalityの開発とその課題

12月4日(金) 10:10~12:10 第3会場

座長：中野 真子(ノバルティスファーマ)  
金子 健彦(Heartseed)

- ◇抗体薬物複合体(ADC)製品の開発：新規モダリティに常識はない—逆転の発想で大逆転を狙う  
慈幸 貴洋(第一三共臨床開発第二部)
- ◇核酸医薬品の開発における課題について  
藤井 教尚(Alynlyam Japan薬事部)
- ◇遺伝子治療用製品の開発—戦略的なターゲットデザインに必要な視点を考える  
米田 智廣(ノバルティスファーマ開発本部探索開発部)
- ◇細胞治療実用化の展望と課題  
金子 健彦(Heartseed)

近年、治療手段としてのモダリティは急速に多様化している。ニューモダリティとは何かを解説し、代表的なニューモダリティの特徴やその開発の取り組み、各モダリティが抱える課題を紹介する。

慈幸貴洋氏(第一三共臨床開発第二部)は、ヒト上皮増殖因子受容体2型(HER2)に対する抗体薬物複合体(ADC)として自社開発したDS-8201a(T-DXd)の研究過程を示し、既存のADC技術の常識や限界を超えるために行った挑戦、開発加速化のための取り組みについて紹介する。

藤井教尚氏(Alynlyam Japan薬事部)は、主に肝臓で産生されるトランスサイレチン(TTR)のmRNAを標的としたsiRNA医薬品Patisiranの研究開発過程を示し、標的となる細

胞に取り込まれにくいことや、血中から速やかに消失することなどsiRNA医薬品の課題克服のために行った取り組みについて紹介する。

米田智廣氏(ノバルティスファーマ開発本部探索開発部)は、脊髄型筋萎縮症(SMA)に対する1回完結型の根本治療を目指すことができる遺伝子治療用製品として、日本で今年3月に薬事承認を取得した「ゾルゲンスマ」の薬剤特性を解説し、有用な遺伝子治療用製品を開発するために必要な知見を参加者と共有する。

金子健彦氏(Heartseed)は、他家iPS細胞由来の再生心筋(HS-001)を用いた心不全治療の実現を目指して研究開発を進めている同社の取り組みをもとに、細胞治療実用化の展望や課題を提示する。

健やかな未来を共に実現するパートナーとして。

新型コロナウイルス感染症対策にご尽力いただいている医療関係者の皆様に感謝申し上げます

会員企業一覧 (50音順)

正会員 (15社)

- |   |  |
|---|--|
|  IQVIA サービスズ ジャパン 株式会社 |  コーヴァンス・ジャパン 株式会社     |
|  アイコン・ジャパン 株式会社        |  株式会社 CACクロア          |
|  イーピーエス 株式会社           |  シミック 株式会社            |
|  インクロムCRO 株式会社         |  株式会社 新日本科学PPD        |
|  株式会社 インテリム            |  DOTワールド 株式会社         |
|  株式会社 インテージヘルスケア       |  パレクセル・インターナショナル 株式会社 |
|  エイツーヘルスケア 株式会社        |  株式会社 ベルシステム24        |
|  株式会社 エスアールディ          |  |

※ 正会員の他、賛助会員32社が加盟しています。



一般社団法人 日本CRO協会

所在地：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11  
日本橋ライフサイエンスビルディング504  
電話：0120-353-125 メール：info@jcroa.or.jp  
ホームページ：http://www.jcroa.or.jp